

「職業人のエッセンス」

④ 仕事の進め方 – PDCAサイクルー

- プログラム、指導案、指導用教材・テキスト・配布資料

「仕事の進め方－PDCA サイクル－」

指導プログラム

1.プログラムのねらい

- (1)PDCA サイクルとは何かを説明できる。
- (2)計画 (PLAN) →実行 (Do) →評価 (check) →改善 (Action) の手順で行う行動が求められる理由を知る。
- (3)PDCA サイクルによってもものづくりを体験してその良さを知る。

2.指導時間

90 分

3.対象者 (学習者)

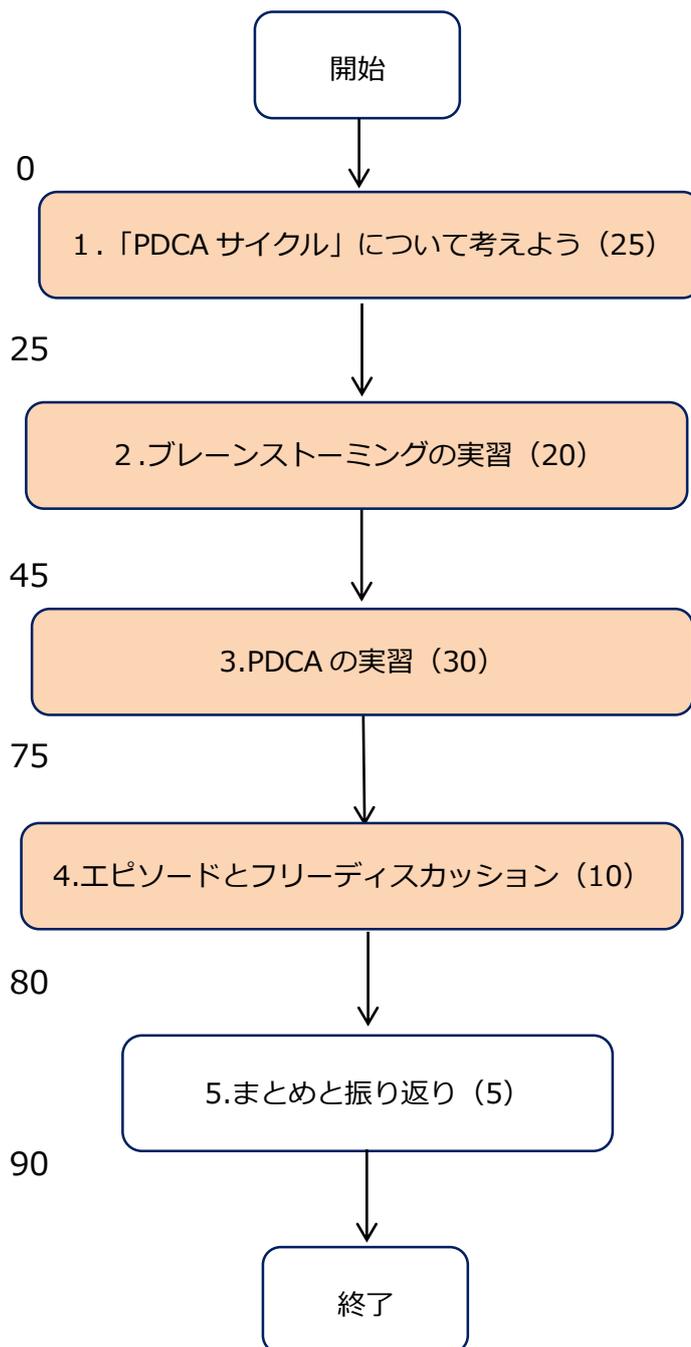
8～10 名程度

4.使用する機材

- (1) A4 用紙 50 枚程度
- (2) セロハンテープ 4～5 巻き
- (3) はさみ 4～5 本
- (4) のり 4～5 個

PDCA に関する実習に応じ(1)～(4)のような工具・道具を用意する。
上記は「紙飛行機を作る実習」に使う道具の例

5.コースアウトライン



指導案「仕事の進め方－PDCA サイクル－」

主な項目	所要時間	内 容	教材
1. 「PDCA サイクル」について考えよう	5(5)	<p>・全員が着席したら、自己紹介をして、リラックスするように心がけてください。受講者は何が始まるのだろうか、「ものづくりマイスター」って何なの？と考えているはずです。</p> <p>「皆さんが職業に就くと、すぐに直面することがあります。この学習シリーズでは6つのテーマで学習していくことにしましょう。今回のテーマは「PDCA サイクル」です。」</p>	
	5(10)	<p>・PDCA サイクルとは何でしょうか？</p> <p>・計画（PLAN）、実施（Do）、確認（check）、処置（Action）の手順を踏んで行う行動が「PDCA サイクル」です。</p> <p>P（PLAN：計画）・・・仕事の計画を立てる D（Do：実行）・・・計画とおりに実行する C（check：確認・評価）・・・実施した結果を確認する A（Action：改善）・・・確認した結果を見て改善処置をとる</p> <p>■P-1 「PDCA サイクル」とは</p>	P-1
	15(25)	<p>例えば、旅行を考えます。</p> <p>P・・・どんな旅行するのか？ D・・・計画とおりに旅行します C・・・計画した旅行がよかったかどうかを、旅行をしながら確認します A・・・良くなるように次の旅行の計画のときに改善します</p> <p>このように、普段の行動でも、PDCA サイクルを回していますが、事実（データ）を基にして、このサイクルを回している人は少ないと思います。</p> <p>事実を記録し、データを残し、データから次の行動へと繋げていくことが「PDCA サイクル」の考え方です。</p> <p>P・D・C・Aのサイクルをまわすことによって、色々なことを改善することができます。</p> <p>■P-2 「PDCA サイクルの考え方」</p>	P-2

		<p>※ここで示した例以外でも、ものづくりマイスターの体験談を話しながら、「PDCA サイクル」についての想いを交流してください。体験談に必要な道具や製品などがあればこれを利用するのもよいです。苦い思い出、失敗談、改善したこと、「PDCA サイクル」への想い・・・</p> <p>※上記について、ご自身のお話されること、利用する道具などを以下にまとめておいてください。</p>	
<p>2.ブレインストーミングの実習</p>	<p>20(45)</p>	<p>・アイデアを膨らませる「ブレインストーミング」について考える</p> <p>・ブレインストーミング (brainstorming) は発想法の一つです。諺に「3人寄れば文殊の知恵」というのがありますが、問題の解決や課題を達成する場合、一人で考えるのではなく、関連する人達に集まってもらって知恵を出し合うための方法です。</p> <p>・ブレインストーミングでは</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 批判はしない 2. 自由に発言 3. 質よりも量が重視です 4. 他の人の意見は参考にしましょう <p>という4つの決まり事を守って発想することが大切です。</p> <p>■P-3「ブレインストーミング」</p> <p>・ここでは、「(例：みなさんの施設で困っていること、改善したほうがよいこと)」を話し合ってみましょう。</p> <p>まず、一人三つノートに書いてみましょう！</p> <p>たとえば以下のようなものがありますね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別ができていない ・照明が暗い ・掲示板が更新されていない <p>など・・・</p>	<p>P-3</p>

		<p>※ブレインストーミングの題材は、ここで示した例以外でも構いません。ものづくりマイスターの体験談を話しながら、「ブレインストーミング」についての想いを交流してください。体験談に必要な道具や製品などがあればこれを利用するのもよいです。苦い思い出、失敗談、改善したこと、「ブレインストーミング」への想い・・・などをわかりやすく語ってください。学習者の自由な質問や感想などを交えてテーマの深みを増すようにしてください。</p> <p>※上記について、ご自身のお話されること、利用する道具などを以下にまとめておいてください。</p>	
<p>3.PDCAの 実習</p>	<p>30(75)</p>	<p>・ PDCA サイクルの理解を深めるための実習を行う ここでは、PDCA サイクルの理解を深めるための実習を試みましょう。今回の実習では「A 4の紙を使って紙飛行機をつくる」というのが課題です。使用していいのは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A 4の紙 ・ セロハンテープ ・ はさみ ・ のり です。 <p>(実習に必要な道具に入れ替えてください)</p> <p>チームを2～3人にわけてください。</p> <p>以下に、PDCA サイクルの例を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Plan (計画) : はじめに、どのような飛行機をつくるか、目標と作り方の手順を考えましょう。 ・ Do (実行) : 目標に向かって、試行錯誤し、実行してください。その際、ブレインストーミングを意識しながら、チームで協力し、できる限り計画に近い紙飛行機を作ってください。 	

		<p>・ Check (確認) : 制限時間がきたら、他のチームの状況を参考にするなど、計画は妥当だったか？もっと良い方法はなかったか？などの色々な視点から検討してください。</p> <p>・ Action (改善) : 改善点がまとまったら、補正・改善して、はじめよりも高い塔を建ててください。</p> <p>■ P-4 「PDCA 実習」</p> <p>※ここで示した実習内容以外でも、「新聞紙で高い塔を作る」などものづくりマイスターの体験談を話しながら、「PDCA サイクル」について理解を深められる実習を行ってください。実習はどんな内容でも結構です。必要な道具や製品などがあれば利用してください。苦い思い出、失敗談、改善したこと、「PDCA サイクル」への思い・・・などをわかりやすく語ってください。学習者の自由な質問や感想などを交えて理解が深まるようにしてください。</p> <p>※上記について、実習内容、利用する道具などを以下にまとめておいてください。</p>	P-4
4.エピソードとフリーディスカッション	10 (80)	<p>仕事をするうえで、「PDCA サイクル」というキーワードを必ず覚えておいてほしいですね。</p> <p>最後に、この講義を終えるにあたり、講習を受けた後の「PDCA サイクル」に関する想いについて交流してください。学習者の自由な質問や感想などを交えて理解に深みを与えてください。</p> <p>※上記について、ご自身のお話されること、利用する道具などを以下にまとめておいてください。</p>	

5.まとめと振り返り	5 (90)	<p>・ P5 を使ってこれまでの内容をまとめる。次に振り返りシートを配布して書かせる。</p> <p>■ P-5 「まとめ」</p> <p>「それでは振り返りシートを配りますので記入してください。」</p> <p>■■ 振り返りシート</p> <p>・ 提出した者から退出する様にする。</p>	<p>P-5</p> <p>振り返りシート</p>

Memo

